



使徒継承

首召者聖アンデレから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



1. 聖アンデレ、首召者、使徒、殉教者^{CO}

紀元30年頃キリストに召された

聖書に名が記されている：最初にキリストに従い、兄弟シモン・ペテロをみもとに連れて来た者（ヨハネ伝福音書1:40-42）。十二使徒の一人に名を挙げられる（マタイ伝福音書10:2）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒アンデレから今日にまで及び、
2026年現在で1,996年にわたる。

聖アンデレからモスクワ府主教聖 Vladimir に至る継承は、コンスタンティノープル全地総主教庁およびロシア正教会が保持する主教名簿に従っている。これらは、正教会が自らの使徒継承を首召者聖アンデレにまでたどるのと同じ名簿である。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖

人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

O 正教会により聖人として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

コンスタンティノープル

ビザンティウム、のちのコンスタンティノープルの主教座。首召者聖アンデレをその創立者とする。総主教たち、聖アンデレが叙任した聖スタキスから、Nicholas II Chrysobergesまで。その時代に、最初のキーウ府主教が、新たに洗礼を受けたルーシの民のもとへ遣わされた。

2. 聖スタキス ^{CO}	38
3. Onesimus	54
4. Polycarp I	69
5. Plutarch	89
6. Sedecion	105
7. Diogenes	114
8. Eleutherius	129
9. Felix	136
10. Polycarp II	141
11. Athenodorus	144
12. Euzois	148

13. Laurence	154
14. Alypius	166
15. Pertinax	169
16. Olympianus	187
17. Mark I	198
18. Philadelphus	211
19. Cyriacus I	214
20. Castinus	230
21. Eugenius I	237
22. Titus	242
23. Dometius	272
24. Rufinus I	284
25. Probus	293
26. 聖 Metrophanes ^{CO}	306
27. 聖 Alexander ^{CO}	314
28. 聖パウルス1世 ^{CO} 殉教者	337

29. Eusebius	339
30. Macedonius I	342
31. Eudoxius	360
32. Evagrius	370
33. Demophilus	370
34. ナジアンゾスの聖グレゴリオス CO	379
35. 聖 Nectarius ^{CO}	381
36. 聖ヨハネス・クリュソストモス CO	398
37. Arsacius	404
38. 聖 Atticus ^{CO}	406
39. Sisinnius I	426
40. Nestorius	428
41. Maximian	431
42. 聖 Proclus ^{CO}	434
43. 聖 Flavian ^{CO} 殉教者	446
44. 聖 Anatolius ^{CO}	449
45. 聖 Gennadius I ^{CO}	458
46. Acacius	472
47. Fravitta	489
48. Euphemius	490
49. Macedonius II	496
50. Timothy I	511
51. John II	518
52. Epiphanius	520
53. Anthimus I	535
54. 聖 Menas ^{CO}	536

55. 聖 Eutychius ^{CO}	552
56. John III	565
57. 聖 John IV ^{CO}	582
58. Cyriacus II	596
59. Thomas I	607
60. Sergius I	610
61. Pyrrhus	638
62. Paul II	641
63. Peter	654
64. Thomas II	667
65. John V	669
66. Constantine I	675
67. Theodore I	677
68. George I	679
69. Paul III	688
70. Callinicus I	693
71. Cyrus	706
72. John VI	712
73. 聖 Germanus I ^{CO}	715
74. Anastasius	730
75. Constantine II	754
76. Nicetas I	766
77. 聖 Paul IV ^{CO}	780
78. 聖 Tarasius ^{CO}	784
79. 聖 Nicephorus I ^{CO}	806
80. Theodotus I	815
81. Anthony I	821
82. John VII	837

83. 聖 Methodius I ^{CO}	843
84. 聖 Ignatius ^{CO}	847
85. 聖 Photius ^O	858
86. Stephen I	886
87. Anthony II	893
88. 聖 Nicholas I ^{CO}	901
89. Euthymius I	907
90. Stephen II	925
91. Tryphon	928
92. Theophylact	933
93. Polyeuctus	956
94. Basil I	970
95. Anthony III	974
96. Nicholas II	984

キーウ

キーウおよび全ルーシの府主教たち（その最初の者はコンスタンティノーブルから遣わされた）から、府主教座をモスクワに移した聖 Peterまで。

97. 聖 Michael ^O	988
98. Leontius	992
99. John I	1008年頃
100. Theopemptus	1037
101. 聖 Hilarion ^O	1051
102. Ephraim	1055
103. George	1062
104. John II	1077
105. John III	1089
106. Nicholas	1097

107. Nicephorus I	1104
108. Nicetas	1122
109. Michael II	1130
110. Clement	1147
111. Constantine I	1156
112. Theodore	1161
113. John IV	1164
114. Constantine II	1167
115. Nicephorus II	1182
116. Matthew	1201
117. Cyril I	1224
118. Joseph	1236
119. Cyril II	1247
120. Maximus	1283
121. 聖 Peter ^O	1308

モスクワ

モスクワの府主教および総主教たち、ならびに、ロシア教会が聖シノドによって治められた18世紀以降は、モスクワの大主教および府主教たち。聖 Vladimirまで。

122. Theognostus	1328
123. 聖 Alexius ^O	1354
124. 聖 Cyprian ^O	1381
125. 聖 Photius ^O	1408
126. Isidore	1437
127. 聖 Jonah ^O	1448
128. Theodosius	1461
129. Philip I	1464

130. Gerontius	1473
131. Zosimus	1490
132. Simon	1495
133. Barlaam	1511
134. Daniel	1522
135. Joasaph	1539
136. 聖 Macarius ^O	1542
137. Athanasius	1564
138. 聖 Philip II ^O 殉教者	1566
139. Cyril	1568
140. Anthony	1572
141. Dionysius	1581
142. 聖 Job ^O	1587
143. 聖 Hermogenes ^O 殉教者	1606
144. Philaret	1619
145. Joasaph I	1634
146. Joseph	1642
147. Nikon	1652
148. Joasaph II	1667
149. Pitirim	1672
150. Joachim	1674
151. Adrian	1690
152. Joseph (Volchansky)	1742
153. Platon (Malinovsky)	1748

154. Timothy (Shcherbatsky)	1757
155. Ambrose (Zertis-Kamensky)	1768
156. Platon (Levshin)	1775
157. Augustine (Vinogradsky)	1818
158. Seraphim (Glagolevsky)	1819
159. 聖 Philaret (Drozdov) ^O	1821
160. 聖 Innocent (Veniaminov) ^O	1868
161. Macarius (Bulgakov)	1879
162. Joannicius (Rudnev)	1882
163. Leontius (Lebedinsky)	1891
164. Sergius (Lyapidevsky)	1893
165. 聖 Vladimir (Bogoyavlensky) ^O 殉教者	1898

アメリカ合衆国

1904年にモスクワで主教に聖別され、のちにアリ
ューシャンおよび北アメリカの大主教となった
Evdokim以降、各主教はその前に挙げられた主教
によって聖別された。

166. Evdokim (Meschersky)	1904
167. Aftimios (Ofesh)	1917
168. Sophronios (Bishara)	1928
169. John Chrysostom (More-Moreno)	1933
170. Perry Nikolaus Cedarholm	1949
171. Nils Bertil Alexander Persson	1971
172. Samuel Guido, Jr.	2004

173.

Garland F. Byers, Jr.

2013



聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマー トンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、[主教についての](#)ページに掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。

ます。

聖アンデレのイコン、板にテンペラ、金箔、ギリシャ北部、14世紀。Walters Art Museum、ボルチモア（37.559）、[Wikimedia Commons](#)経由。同美術館によりパブリックドメインとして公開。原画からサイズ変更を施した。